



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔心と体を動かし、脳を働かせる〕
～童心会が育む一生まんの9つの言葉(Nine words)～

私たち園長会が学びあっている5月の理事長研修が120回となり、10年目の節目の会になりました。
私を読む雑誌の中に、人間学を学ぶ「致知(Chichi)」という月刊誌があります。
今月号の特集「わが人生の詩」の中に、作家の高見順氏が食道がんを患い入院していた折、病室の窓から一人の少年が嵐の中で新聞配達をしている姿を見て作ったという詩が紹介されていました。

「なにかをおれも配達しているつもりで 今日まで生きてきたのだが
人びとの心に何かを配達するのが おれの仕事なのだが
この少年のようにひたむきに おれは何を配達しているだろうか」

私も小学3・4年生の2年間、新聞配達をして家のために働いたことがあります。
私もこの少年のように四季環境の気紛れな試練を授かりながら、がんばってきたことを思い出しました。
改めて私はこの詩を読んで自分たちの与えられた役割は何か、を何度も何度も振り返り考えてみました。
私たちが昔から歩んできた「保育と幼児教育」は、2001年にOECDが発表した保育白書「乳幼児の教育とケア(Early Childhood Education and care.ECEC)」から生まれ変わるべきだと思いました。

私たちは1973年(昭和48年)から「五感を刺激する0歳からの人間教育」に取り組んできましたから、新しい科学(脳科学や認知神経科学)との共働が図られるべきであると考えていました。

だから「人間学と人間科学に基づく人間教育」に視点を変え、
日本に昔から伝えられている気候、風土、文化、歴史、宗教から
訓えられた社会観、人間観を身につけ
人間学的に人間性を高めなければならないと思ってきたのです。



笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番



E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



〔 人間としての生きる心得(現代版 無財の七施) 〕

- | | | | |
|------------------|-------------------------------|----------------|----------------------------|
| 1. 笑顔
(和顔施) | = 朝からとびっきりの笑顔
でおもてなし | 5. 傾聴
(慈眼施) | = やさしい眼差しで
熱心に聴くこと |
| 2. 挨拶
(愛語施) | = 思いやりが心に
ひびくご挨拶 | 6. 共感
(傍舎施) | = 共にある心(多様性)
共に喜び共に悲しむ心 |
| 3. 思いやり
(心慮施) | = すべてのものによりそう心
温かいおもてなし | 7. 受容
(床座施) | = 受け入れ取り込む心
分かちあいゆずりあう心 |
| 4. 感謝
(捨身施) | = いつもありがとうの心を
わすれない(助けあう心) | | |

また、私たちは「人の成り立ちのはじめ は新生児から学びのはじめ」が生まれているという科学的エビデンスを学びました。何度も書きましたが、現生人類、ホモ・サピエンス(賢いヒト)は30万年の歳月を生き永らえてきましたが、遺伝子と社会環境に適応しながら学習し続ける心・体・脳を造り上げてきたのだそうです。

改めて「人の成り立ちのはじめ」は社会環境(人・もの・こと)との関わりから心が動き、体を通して経験・体験が記憶され、脳の各領域が活性化し、構造化され、機能が高められて次の世代に遺伝子と社会環境に適応するヒト創りをすることを使命として求められているのだ、と思っています。

だから私たち(社福)童心会の育む人間教育は、生涯学習・生涯教育であると確信し、「一生ものの9つの言葉(Nine words)を身につけるべく、学び続けています。」

〔 一生ものの9つの言葉(Nine words) 〕

1. 学びの基盤 (五感の刺激・意識・Serve & return)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1) 興味(見て做い・観せて学ぶ) | 3) 好奇心(触れて知って触って記憶する) |
| 2) 関心(聞いて考え 聴かせて習う) | ※意識＝認識し、思考する心の働き |

2. 生きる心構え (やればできる・mind set)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 4) がんばること(体の力) | 6) がまんすること(心の力) |
| 5) つづけること(学ぶ力) | ※体力・生命力・精神力 |

3. 生きる姿勢 (やり抜く力 Grit)

- | | |
|------------|----------------------|
| 7) やる気(意欲) | 9) ほん気(意志) |
| 8) げん気(気力) | ※やる気・げん気・ほん気が生まれた運動会 |

改めて考えてみると、私たち(社福)童心会の目ざしている「思いやり(慈悲)と生きる力(智慧)」とは、この9つの言葉(nine words)の訓えの中にすべて含まれているような気がします。昔からある釈迦の教えに、人が生きていく上で欠かしてはならない大切なものが三つあると言われています。

1. 人生の師 2. 人生の教え 3. 人生を共に語りあえる友

我が(社福)童心会に導かれた集いし者たち一人ひとりが、

「自分を創る・人を創る」歩みを続けながら

師となり、訓え人となり、語り部となって伝えられる人になってほしい、と願い・祈り続けています。

令和5年 6月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲

※ 童心会だよりはホームページ上でご覧になれます。
理事長の部屋【<http://doushinkai.jp/message/>】